

田原地域に関する自由意見

問16 田原地域について、あなたの意見を自由にご記入ください。

【コミュニティ・自治会】

(18～29歳)

もっと近所付き合いしていった方が良くと思う。夜とか近所がすごく静かなので、もっと笑い声とかがある明るい地域にしていった方が良い。

年齢などに関係なく、ふれあいのできる場所や時間が必要であると思います。

田原地域に引っ越してきてまだ日が浅いですが、近所の方に会うと必ず挨拶して下さるところが素晴らしいと思います。皆さん親切で暮らしやすい地域だと思います。

住みやすくするには、人の思いやり、人間関係を良くしていくと住みやすい地域になると思います。

外で出会った人には声かけする。あいさつもできない人がいるので、それを無くしたいですね。

地域コミュニティの重要性は高いです。桜台は世代がまとまっているので、20年後には高齢化などの問題が出てくると思います。このため、絆を深めることなどは重要なキーポイントになると思いますが、時代に合った、この地区にあったやり方を見つけること大切だと思います。私には昔から田原地域のやり方は馴染めません。

自然が多く、子どもが育つ場所としてはとても良いところだと思います。その反面、自転車で買い物したり、遊んだりできる場所が少なく、不便です。地域の活動がとても多い気がしますが、子育て世代には夜の集まりや土日の行事に参加するために子どもを預けなければならないことが大変で負担になっています。

(30～39歳)

年配の方は自治会等で交流があるが、20～40代の交流がまったくないので、交流の場が大切だと考えます。そして、年配の方と若者の交流も大切だと考えます。

働く方が多いので、平日の自治会の行事はなくした方がいいと思います。

子どもと散歩している時、子どもが大きな声で「こんにちは」とあいさつをしているのに、あいさつを返してくれない年配の方が時々いる。あいさつの大切さを教えたいのに、立派な大人がああいう態度では情けなく感じてしまう時がある。

もう少し近所づき合いが増えると、防犯・防災面で安心できると思います。近所なのにどこか誰だか分からない、なんてことがないように、スポーツやお祭り、イベントなどで交流があるといいと思います。その時に名札をつけるなどして誰だか分かると話のキッカケもできていいんじゃないでしょうか。

桜台のような団地は、各地から色々な方の集まりでできた団地なので、高齢の世帯も若い世帯も混在しており、居住年数も随分違う。そのため、田舎の昔からある地域と比べると、隣り近所との付き合いがなく、ある意味では楽かもしれないが、何も交流がない。会話もないという中で居住しているのも、どうなのかなと考えさせられることもある。

(40～49歳)

地域の人たちとほどよい距離感でおつきあいできる環境であってほしい。今の桜台の現状で悪くないです。自治会や役員になった人たちが負担にならない程度の活動で地域の人々が感心のあるものを催していただければと思っています。

豊かな自然に恵まれている田原地域であるが、近所のつきあいがあまりなく、寂しいところが少々あります。何かを通じて地域のつきあいができればもっと住みよい田原になると思います。

今と大きく変わりなく自治活動を進めればよい。より住みよくするため自治活動に対しても役員や活動に参加した人に対するお礼的なものがあった方がよい。祭り等で一部の人が主に行っているものを全住民で実行する体制になるようにしてほしい。

60歳以上の人たちの地域に対する思いや、人とのつながり、慣習を守っていかうとするとこころがあって、住みやすい地域になっていると思うし、統制がとれているところがあると思います。無償で地域のために活動する気持ちが、他所から来た新しい人たちが増えていく中で、そして世代がかわっていく中で、薄れていかなければいいと思います。

関市も新しい人が多くなってきたので、昔ながらの行事は大切だと思うが、あまりにも地区によって行事の多さが違い、核家族にとっては住みにくい地域だと思います。できるだけ参加したいと思いながら参加しているのですが、もう少し気楽に楽しく人を思いやりながら参加できるような田原地区になるといいなと思います。

住みよい地域にするには、住民全員がルールなどを守り、いやな思いをしない地域にする。飼犬の鳴き声がうるさい。飼猫や野良猫のフンに困っている等の声をよく聞きます。このようなことがなくなるようにしてください。

今でも十分住みよい地域だと思います。普段から、地域の方に会ったら挨拶するとか、当たり前ですがそのようなことが、大事なのではないのかなと思います。

地域の交流を深める為にいろいろな交流行事が必要だとは思いますが、行事を行うには役員さんの仕事が増えます。仕事をしている人にはとても大変でかなり負担になってきます。役員をする人も減ってくると思うので難しいのかなと思います。

(50~59歳)

豊かな自然を大切にしていきたい。外国人の方が身近に多くみられるようになったのですが、交流することがありません。もっと、触れ合えるといいと思います。

多くの方がボランティアで活動してみえることを知りました。田原の良いところを活かして私にもできることがあったぜひ参加したいです。田原が若い人や子どもたちの住みやすい、老人にも優しい地域になるよう考えていってもらえるとうれしいです。

近隣の人で自治会活動にまったく参加しない方がいらっしゃるので、もっと田原の人間だという意識を持ってみなさんと接していただくと、よりよい人間関係ができると思います。

まず、近所の付き合いを大事にしていきたい。

田原地区へ転入して20年余りが過ぎ、町内会及び地区の皆さんとの絆も深まり楽しく暮らしています。ただ、先日、248号バイパスが開通し、人、車の出入りが多くなり、治安が悪くならないよう願うだけです。

田原に住み始めて丸6年が経ちました。22、23年度には、班長、自治会役員をさせていただき自治会活動も分かりました。住みよい地域にするためには、自治会を中心にそれぞれが声を掛け合うことが大切だと思います。また、情報をきちんと伝えたり、把握していきたいと思います。特に高齢化社会への取組をお願いしたいです。

関市の他の地域と比較すると自治会活動などかなり充実しているように思います。今後、老人の比率が増えることもあり、子どもから老人まで参加できるような行事を設定し絆を深めることが大切だと思います。

長男夫婦が他地域へ行くのは、迫間の年間行事が多すぎるためです。今の若い者はそれが苦痛だと思います。もっと楽に日曜日を過ごせるようにしたらどうですか。

住民の絆を深める為には、まずは近所をつながり、あいさつが大事だと思います。

町内の班で年に1度女子会を開いてくださっています(班長さんが中心となって)。そのことで、近くの方と話す機会がもて、とても嬉しいです。ともすると「隣は何をする人ぞ」的になってしまいがちな団地の中ですが、コミュニケーションがとれ、掃除なども和気あいあいと楽しく参加することができています。

<p>田原の自治会（連合）の役員がある特定の地域の方ばかりになっています。連合自治会長を専任にして、各自治会から負担金をもらって（1世帯あたり〇〇〇円とか）、専任の人に手当を出す方式がいいと思います。当然再任はなしとする。豊かな自然との共存をどうしていくのが今後の課題です。</p>
<p>地域全般の詳細な情報が伝わるような広報の紙面づくりをすれば、住民の絆がわいてくるのではないか。</p>
<p>住みよい地域にするには、一人ひとりがそれぞれマナーを守ることだと思います。</p>
<p>安心して子どもたちを産み育てることのできるまち”田原”、本当に私はこの地で子育てができて感謝しています。ただ、現在は減少傾向で、今後若い方がこの地に帰り、また移り住む、そんな夢を描いています。具体的な方策といわれると困りますが、「魅力あるまちとは（若い人にも）何か」問い続けていくべきです。風通しの良い雰囲気の中で話し合いができれば良いと思います。</p>
<p>楽しく参加できるような行事やイベント、ボランティア活動などがあったり、どんな活動があるのか呼びかけを地域ごとに増やしたり、気軽に参加できる雰囲気づくりをすると良いのかもしれません。</p>
<p>住民の絆を深めるためには、積極的に行事や活動に参加することが基本である。しかし誰もが時間に追われる毎日を送っているため、できる時にできる場所で、できる範囲で活動することができる人々が賛同する地域になれば、住みよい地域になれるかもしれません。</p>

(60～69歳)

<p>昔からの自治会の行事等で負担が多い。その上自治会役員を旧住民が独占し、住民の意見が通らない。</p>
<p>地域住民の人々がお互いに声をかけあうことと、信頼し合うことが必要だと思います。</p>
<p>地域の行事にはできるだけ参加し、日頃より隣近所には声をかけあい、コミュニケーションを取るように心がけている。</p>
<p>他の地域に比べると昔ながらの行事も受け継がれているし、地域の絆も十分深いと思います。現状が維持できれば十分だと思います。</p>
<p>地域内の人と人との関係が重要。今後は高齢者が増加し、健全な支援、助け合い等の協力が大事。まずは、家庭、町内、地域へと「一声かけ運動」「あいさつ」から始まる絆づくりが大切です。</p>
<p>古い行事をいつまでも続けないこと。</p>
<p>自治会の運営にしても、田原地域で活動している団体の運営にしても、まだ一部で強制的、無理強い、やらされているという感がある。また一部に負担が集中している。本当にボランティア精神で取り組める環境づくりが大切。また各種団体の長の若返りを図り、少しでも若い人の賛同、参加を得られる団体づくりも必要です。</p>
<p>数年来、この土地で生活していますが、〇〇組があり、その中に一緒にお世話にはなりえない部分がある。班の一員であってもいつまでも本当の仲間にはしてもらえない。いつまでも「他所から来た人」で過ごしている。田畑の草刈り作業は、あくまでも土地の持ち主の責任において活動してほしい。厳しい市の財政から支援金を出してまで「美土里の会」が草刈り活動をしないといけないのか疑問である。</p>
<p>不平等を是正する。日常生活における最低のルール、マナーをお互い守るという思想が大事です。</p>
<p>古い居住者中心の考えばかりでなく新参者も公平に扱ってほしい。</p>

昔からみえる地元の人意見が強すぎて、新しい住人の意見はなかなか取り入れてもらえない。それではいつまでたっても進展は望めないと思います。
毎日が忙しすぎてとなりの人と逢うことも少ないので、定期的に何かの集いなどがあると住民の絆も深まり、どこの人か、どこの子どもさんか分かるようになると思います。高齢者が多くなるので高齢者でも楽しめる物作り、趣味を生かせる場、学習の場があると良いと思います。生きがいができる場所づくり。
現在、田原自治会の任期は1年であり、多年度にわたる諸活動の実行ができない。また、田原地域には活動されているが、どんな活動がなされているか住民にはわからない団体が多くある。また、団体単位の連携をされていないと判断する。このことを踏まえて、田原全体を一組織として活動すべきと考える。(各団体の一元管理化した組織とする。)そして、必要に応じて、ふれあいセンターに専任者を配属することも考えられる。
私は桜台の住民ですが、桜台以外の地域の方々との交流の機会が少ないような気がします。参加しやすい行事が増えると良いと思います。
特定の人長く(5年以上代表、委員長等)いるので、後継者が育たない。互いに支え合いながら協力していく中に、人間同士の絆が生まれてくる。
地域でボランティア活動をしている方は応々として年配の女性が多い。その活動内容は、活動されている団体に意見を求めず、一方的で半ば強制的に行事に組み込まれ、必要以上に活動日が多くなり、家庭に支障が出るということがあります。もっと丁寧にその活動の主旨を説明していただき、意見を求めるという、民主的な活動組織を作っていただきたい。
地域のリーダーの育成、趣味の活用が重要です。
子ども達が成人してから転居してきたため、あまり近所の付き合いがなく、なかなか地域になじめなく寂しく思っています。
私は桜台に住んでいます。旧田原地区に住んでいらっしゃる方(全員とは言いませんが)に閉鎖的な面があると思います。実際ある団体に加入を申し込んだ時、断られたことがあります。まだ「団地は別」と考えていらっしゃるのではないのでしょうか。
「親切」「気遣い」「思いやり」をモットーに住民一人ひとりがコミュニケーションの輪を広げる地域づくり目指して欲しい。
大人たちが小学生、中学生、高校生等子ども達に積極的に声かけができると自然にあいさつができるまちになれると思います。
おとな、子ども問わず、地域の人と顔を合わせた時は、必ずあいさつができるような地域になればと思います。

(70歳以上)

地区の中で色々な人が混在しており(農業者、団地住民等)、利益や価値観が大きく異なります。住民同士の相互理解が、先ず大切で前提となると思います。地区全員が利益を受けられると思うような運営すると良いと思います。
地域の人達と交流を深めたい。誰に会っても、おはよう、おやすみなど挨拶運動を実行してみたらどうでしょうか。
一人ひとりが責任を持って色々な行事などに参加するように協力して絆を深める。
この地域に住んで三十年、私は未だ他所者と呼ばれる人間らしい。他にも同様の人が居る。住み良い地域になることはなかり。
住民の高齢化が進む中、高齢者世帯への声かけ運動が大切。自治会を中心として安否確認をかねて周期的に見守る。

高齢者が多くなる傾向。お互いの親睦、日常生活での話し合い、助け合い等心のふれあいの場（クラブ活動）など始めると良い。ふれあいセンターまで行けない人が多いので地元の施設を利用して横のつながりを作ってください。

東と西の交流がもっとあってほしい。

【防犯・防災・交通安全】

（18～29歳）

人目に付きにくく、女性に変質者に遭遇したという道があるので、そういう場所がなくなるとよいと思います。子ども110番の家がもう少し増えると小学生などの保護者の不安が少しでも減らせるのかと思います。

住み良い地域にするには、防犯パトロール等、安心して住めるまちづくりをする。団地内の無断・違法駐車をなくす。

田原地区は外灯が少なく、夜になると暗く危険な道が多い。もっと外灯を増やしてほしい。

（30～39歳）

外灯をもっと増やした方がよい。夜暗すぎます。豊かな自然は現状をキープしてほしい。

いま、消防団員の数がどの地区も少なく、人もなかなか見つからない状態です。自治会からも団員の募集をやるといいと思う。

地域の見守り隊の方たちが登下校時に立ってくださっているのが、とても良いことだと思います。暑い時、寒い時、いつもありがとうございます。緑が沢山あって良いと思いますが、以前住んでいたところに比べ外灯が少ないので暗くなってからの子ども達の帰りが心配です。248号バイパスの高架下のトンネルに中高生が座り込んでいて、通る時に少し怖かった。柱に座ってたりもして危ないし、子ども達に近寄せたくない感じでした。

田原地域についてはとても住みよい地域だと思います。ただ、今後大きな災害が起きた時の地域の連携などがとても心配です。私も消防団に入団しておりましたが、現状は勧誘しても入団を断られ団員数が減少しているようで、とても残念です。住民の絆や同世代の絆を深めるためには消防団活動はとても有意義な活動であると思っています。危険をおかしてまではできませんが、自分の住む地域は自分たちで守る意識が高まると良いと思います。

道路の整備、外灯の設置で防犯につながる。生活環境が整っていると事故もない。美化にもつながり、地域のランクがアップすると、人気上昇で人が増え、さびれなくてすむ。自然豊かで、ほのぼのとしたモデル地域になり、次第に店舗が増える。

（40～49歳）

子どもたちの通学にあたり、まだまだ危なく暗い所などがあり、改良すべきことがあると思います。

近隣住民との密接なつながりにより、犯罪のない、他の市町村からもうらやましがられるようなまちにしたい。（積極的なボランティア、地域貢献活動が行われるようなまちづくりにするための方策をみんなで考えよう。）

車以外の交通手段が無いに等しい。車に乗れない高齢者や子どもが買い物などで出かけるのに手段が無さすぎる。利用者が少ないからとバスも1日に数本しか出ておらず不便。夜になると真っ暗でいろいろな意味で危険。もっと外灯を増やして安全で安心できる環境が望ましい。通学路になっている道路に自転車専用のレーンがあるといい。朝は交通量も多く、急いでイライラしているドライバーが多く、激しくクラクションを鳴らされたり、暴言を吐かれたり安全だとは思えません。とにかく自転車レーンを！

ご近所どおしの声かけがあれば防犯、防災につながると思う。誰かが住んでいるのかわからない場所や人がいるので、不便な時もある。

(50~59歳)

地域の人達に会ったら顔見知りでなくてもあいさつをするといいと思います。不審者対策になるのではないのでしょうか！（声を掛け合うことが大切）

夜間は外灯が切れていたり、また外灯も少なく、暗くて恐くてさみしい感じがします。住民は良い方々なのですが、これでは益々住民が減っていくように思われます。他の地域から移り住んでもらえたらいいですね。

桜台から田原小の区間の通学路に外灯を増やして明るくしてほしい。秋から冬にかけての夕方は、薄暗くなってからの下校もあり、安全に下校できるように配慮してほしい。

日中働きに出でいますが、近所の方々が優しく、感謝して生活しています。桜台は坂が多い場所で、年々高齢になると歩くのも大変です。車が乗れるうちは良いのですが、独居、老夫婦世帯となった時、買い物に行くことも大変だと思います。坂祝町のオオクワが宅配サービスをしています。買い物用バスなど出してくださるとか、高齢者に対して優しいまちをつくってほしい。桜台も3階建て住宅の建築を許可して、3世代が住めるよう考えてほしい。今の我が家では、子ども達と同居ができません。

(60~69歳)

桜台に住んでいますが、歩道の角の所の縁石が全部平らにされましたが、近所の方の駐車場（特に夜間）になっています。通行、防災の面で危ないと思いますのでポールを1本か2本立て車が入れないようにしてほしい。

外灯の数が少なすぎる。遊歩道のような散歩のできる場所があれば良い。

子どもの人数が少なくなり、登下校の防犯、交通事故対策等が必要だと思います。夕暮れが早く、各所に防犯灯の設置を早急をお願いします。

【日常生活・公共交通】

(18~29歳)

田原地域の良い所は自然豊かで農業が盛んな所であると思う。せっかく「ふる里農園」などの特産品を売る施設もあるのだから、そこへ行くための交通手段を増やすべきだ。確かに、バスの本数を増やしてもたまにしかお客が乗らない日があるかもしれない。しかし、車で10分ほどかかる病院までの距離を2,000円も出して毎週通っているおばあちゃんを見ていると、どうしてこんなに不便なのかと何か悲しい。もっとバスの本数を増やして、色々な所に行けるようはりめぐらしてください。

コンビニへ行く時に橋を越えないと行けないし、田原団地まで少々距離があるので、西田原地区にコンビニをつくってほしい。また、田原地区から外に出るとき、わかくさのバスしかないの、他の公共交通機関（鉄道）を増やしてほしい。

買い物や病院に市街地に行くための交通手段の確保をした方が良い。

買い物に行くにしろ、郵便を出しに行くにしろ、乗り物がないとなかなか行けない。スーパーとか店もないし、郵便ポストも少ないです。その分、ふるさと農園は何かとありがたい存在です。

最寄りの主要駅や買い物ができる場所までの公共交通機関（バスなど）の整備が早急に求められる。公共交通機関が非常に不便。

鶺沼までバスが通れば、通勤・通学が便利になる。自然を利用した大きな公園をつくる。
(美濃加茂健康の森のような) 田原小学校区にもスーパーがほしい。

南は交通も不便、お店もない。高齢になったら住みにくいまちである。

大型ショッピングセンターができると良い。

30年近くこの地域で暮らしております。のんびりとのどかな雰囲気はずっと変わりませんが、公共の交通手段はほとんどなく、小売店舗や病院も少ないという点が気になっております。60歳近くになった私の母は、近年、地域の不便さを嘆くことが多くなりました。自家用車という移動手段を持たない、また持つことのできない方にも暮らしやすい地域なればと思っています。

(40~49歳)

特に迫間台は交通の便も悪く、近くに行きやすいスーパーやコンビニも少ないので、高齢者には大変だと思います。高齢者社会で老人も多く、独居老人など色々な面で心配なことも多いと思います。もう少し田原地区が住み良いまちになったら良いと思います。

市役所への交通が不便のため南北の道路を整備してほしい。(名古屋への交通を便利にしてほしい。)

田原はどうしても交通の便が良くない所にあるため、車の運転ができなくなった時に生活の不安がある。また、夫婦が仕事で留守でない時に子どもの足がないことに不便を感じる。デマンドバスがあっても、急な時には不便だ。車を持ってない人が、生活に不自由を感じないことが魅力的なまちになると思うが、なかなか難しいことだと思う。

乗り合いタクシーでは若い人たちが乗ろうと思わないです。もっとバスなどの交通手段があればいいかと思います。市街地は市バスや岐阜バスが通っているのに、このあたりは通っていないので、市街地へ行くにも不便です。

買い物をするにも外食をするにも車がないと移動ができない。また夜間は外灯も少なく、子どもだけで塾などに通わせることも心配である。老後を考えたときに、歩いて用事を済ませることができる商店街や大型店が近くにあってほしい。または公共交通機関を整備してほしい。また子どもの安全を守るためにも外灯を増やしたり、用水の側溝にはフタをしたりと、危険箇所を減らしてほしい。

田原地区は、自動車移動でないと生活しづらい所が残念です。自然豊かで、ゆっくりとした時間が流れるこの地区で育つ子ども達は幸せだと思うのですが、反面、老人は買物に行くのにも歩いて(自転車でも)気軽に行ける所がない。こうした生活しにくい場所であっても、若者に地域から離れしてほしいと思います。

交通の手段が悪すぎる。子どもが名古屋方面に行きたい時、いつも新鶺沼まで送っている。鶺沼までの交通手段があれば良い。

道路はどんどん整備されていますが、車の運転ができなければそれまでです。やはり、公共の交通機関がなければ、今後の発展はないと思います。これは、田原だけでなく、関市として考えなければいけない点だと強く感じます。

大型の新興住宅地に住む人々が高齢になり不便さを感じていると思う。248バイパスが完成し、利便性は高まったように見えるが、高齢者が出歩ける環境が整ったわけではない。公共交通機関の導入、充実などにより、出歩ける環境が整えば住みやすいと感じられ、人口維持につながり、活性化も期待できると思う。

(50~59歳)

ふれあいバスを電話で連絡して予約するのではなく、中心市街地を定期時間に回るバスがほしいです。そしたら利用する人ももっと増えると思います。

バスも予約しなければ来なくなったし郵便ポストもない。店も近くにないし不便なことこの上ない。

老人が安心して生活できるまちづくり。老人が買い物に行くのに電話しなくても定期的にバスなどが巡回してくれるとうれしく思います。老人になると電話をかけるのも気がひけるそうなので、考えてください。所得が少ない(12万円)老人が引っ越してくる予定ですが、生活ができるか心配です。何か良い方法がありませんか。

住みよい地域にするためには、買い物や日常生活が便利であってほしい。大型店などお店をどんどん増やし、ネットスーパーなど充実した地域であってほしい。

田原に20年以上住み愛着もありますが、病院・買い物に行くのにも、公共交通手段が無く、自動車を使わなくてはいけない。不便な生活は改善されていません。これから、年をとり生活の不安は尽きません。田原を脱出せざるを得ないのかと思います。

関市街はもちろん、美濃加茂、各務原に近い所は、仕事を求める人にとっては「良い」ことですが、田原に限りませんが、車に乗れない高齢者の移動手段がほとんど確保できないのは問題だと思います。

(60~69歳)

今は車の運転もできるので良いですが、今に公共交通に頼らなければならない時が来たらと思うと不安です。団地北側から抜けている道をもっと拡げてバスを通すようにすると良いと思う。コミュニティバスが無くなったのはなぜですか。決まった顔ぶれが集まり、仲間内というのではなく、老いも若きも持てるものの何分の一かでも他人のためにと考えられるようみんなで意見を言い合える会ができると良いと思います。

交通手段が良くなってほしい。車を持たないとどこへ行くにも不便。行きは良くて帰りの方法が無い。家の近くの道路は歩道がなく、自転車の高校生たちも他の者も危険です。しかし、今の道路にそれをつくるスペースは無理です。

何年後かは老人世帯の増加が見込まれるため、通院、買い物等に行くことができる交通機関を望みます。住民の絆を深めるための行事等工夫が必要かと思います。お互い助け合う地域を目指して一人ひとりが協力しあえる何かがあるといいですね。そして、若者が魅力を感じる地域になったらうれしい。

(70歳以上)

病院に通うバスはあるのでありがたいと思いますが、迫間台は交通の便が悪いため普段買い物に行くことができないので、週に1~2回でも良いのでスーパー行きのバスを出してほしいです。買い物のバスが無理なら、スーパーに止まってほしいです。

これから高齢化が進む中、生活する上では、交通手段が今一番重要です。また徒歩で行ける場所にスーパーなどがあれば良いと思うし、近くのスーパー等買い物バスが1日1便でもあれば良いと思います。病院はデマンドバスでなんとか行けます。

高齢者が増えています。桜台老人会はほとんどが80才以上です。先日もデマンドバスを予約したのに来てくれず、タクシーに乗って病院へ行きました。年寄りの仲間の中には、デマンドバスの予約方法を知らない人もいます。もっと簡単な予約方法や桜台内での送迎車の確保を望みます。

【子育て支援・公園】

(18～29歳)

田原ふれあいセンターの児童室を利用しても、利用人数が少ない。同世代の子と遊ばせたいが利用者が少なければ意味がない。児童室の利用者も増えれば、田原っこの参加者も増えると思う。自治会行事、地域づくりに若者の力が必要になってきていると思う。

大杉地区の北よりには、全く公園がないので、ぜひ作っていただきたいです。私が住んでいる町内では子どもが結構増えてきているのに、歩いて遊びに行けるところが一つもありません。安心して子どもたちが遊べるところがほしいです。田原グラウンドの辺りにも公園が必要です。

昔は、小さい子どもが外で遊んでいる姿が多く見られたけど、今では外でボール遊びなどしていると注意を受けます。確かに車の通日も多くなっていて危ないけど、小さい子どもたちが遊べる場所が必要です。雰囲気が悪くなってきているイメージがあるので、お年寄りから小さい子どもがもっと住みやすい地域が理想です。

せっかくの田舎がもったいない。私が子どもの頃は、三ツ池でよく遊んでいたが、最近では遊んでいる子どもを見ない。私の頃もゲームはあったが、ゲームとは別に池や山で遊んだ。外来魚だかザリガニだか知らないが、駆除をして子どもらの遊び場を無くしている。田舎に住んでおきながら温室育ちの子ども達が大人になったとき田原は終わってしまうと思う。

(30～39歳)

子どもたちが安全に遊べる公園があると、友達だけでなく、親子や近所のつながりも増えると思うので、外で元気よく遊べる場所をつくってほしい。

自然があり、静かで治安も他と比較してよい環境だと思っていますので、子どもを育てる場所、子どもたちにとっても良い地域だと思います。子どもを持って感じることですが、休日になると公園を必ず探します。大きな公園を考えていただけませんか。使用していない土地があるかと思っています。公園には必ず「人」が集まります。

子どもたちが遊べる公園が少ない。あっても小さかったり古かったり汚かったり。安全な遊具があり、広さもあり、トイレもある、きちんとした設備の公園があちこちにほしいです。また、健康づくりのために各務原市民公園や扶桑の緑地公園のような大人もウォーキングできる広場、管理された自然ある公園が欲しいです。

(40～49歳)

田原地域に公園をつくってもらいたいです。以前に関の議員さんにも言いましたが、小学校や保育園の運動場を利用してくださいと言われました。小学校はスポ小が使用するので利用できませんし、保育園では小さすぎます。子どもがサッカーやちょっとした野球ができる程度の広さがあると子ども達が集まり、いろいろな交流ができると思います。鋳物師屋に大きい公園が2つもあるのになんで田原はないんですか！

子どもたちが外で遊べる所があると良いと思います。公園ができないのであれば、休日に小学校グラウンドで遊べるようにする。

高齢者の元気な地域だと思うので、その活力と知恵を地域の子どもたちのためにもっと生かせる場を設けてほしい。子どもたちが放課後自由に立ち寄り、遊び合える、学び合える場、地域での活動を企画し、実行できる場所づくり（保護者同伴の幼児から高校生まで）を願っている。ふれあいセンターの図書室、半分物置おきのようにもったいないです。交通の便が悪い。車のないお年寄りはどうされているのでしょうか。

(50~59歳)

今、全国でもトップクラスの教育水準を維持している東北のある寒村が注目を集めています。ここ田原地区もそれを凌ぐような教育水準の高い地域を目指すことを目標に地域の将来設計をしてはいかがでしょうか。次代を担うのは子どもたちです。将来の世界を背負って立つような有為な人材が多数この地から輩出するようなそんな地域になれば、だれもがここに住むことに誇りを持つことになるでしょう。福祉の充実や美化運動といった地域づくりも大切ですが、この田原の地域委員会はもっと特色のある地域づくりを目指すべきだと私は思います。例えば、元教員の方や一般企業等で定年となられた人で見識・知識を有する方がこの地域にも数多くおられると思います。そのような方々の協力を得て、意欲ある子どもたちに原則無償による学習の場を提供してはどうでしょうか。広島など一部の都市ではそうした取り組みが始まっていると聞きますが、都会に負けない教育環境を整備し、魅力あふれる地域づくりができれば有能な人材が集積し、さらに地域は発展していくことと思います。

(60~69歳)

子どもたちの遊べる公園がないので、関市内にあるような公園をつくっていただきたいです。大杉の油田の土地が公園にとっても良いような気がします。

近くに公園がなく、歩いていて休む場所（ベンチ等）がほしい。孫を遊ばせるにも公園は遠く、田原グラウンド周辺に人の集まる公園などができるとうれしい。近所の子どもたちが道路で遊ぶ姿もよく見かけるので、危険であると思う。安心して子どもたちを遊ばせれる場所を望みます。

田原地域だけでなく子どもの育成についてもっと具体的なプログラムが必要だと感じています。子供は未来の宝、今大人が子どもから、「あんな大人になりたいね」と言われるようにもっと教育の場へ経験豊かな大人と交わる場作りはいかがでしょうか。

【高齢者支援】

(50~59歳)

年々高齢者が増える中、不自由なく行動がとれる地域に要望します。（病院、ショッピングセンター、交通機関などの構築）

高齢者の足となる交通手段を必要とします。小型ワゴン車（9人乗り程度）で、日に4~5回巡回できるようにしてほしい。病院、買い物を中心にしたルートを望みます。

(60~69歳)

高齢者が自由に集まれて、みんなで楽しめる施設があると良いと思います。

【生涯学習・スポーツ・イベント】

(18~29歳)

市民運動会があると楽しそう。

バレーを通じた団結力がすごいと思います。子どもから大人まで一緒に楽しめるのが田原の魅力だと思います。

住民参加のスポーツ大会など顔合わせの機会をつくっていくべき。

(30～39歳)

春に行われる祭りの時、みこし作りに力を入れ、子どもも大人も協力して一つのを創作するなど、行事を盛り上げると良いと思います。秋には、区民運動会などに参加したいと思えるように、前もって計画していける環境づくりも必要です。子ども同士は交流があっても、大人がなかなか交流する機会がありません。

自然が豊かなところを生かして、大きな公園やサイクリングロード等、市民が気軽に集まれる場をつくった方が良いと思います。

大杉のふる里農園が大好きです。拠点にして地域のイベントや行事をもっと行っても良いと思う。子どもからお年寄りまで集まるとっても良い施設ですネ。

(40～49歳)

田原地域全体の行事が無いように思います。あっても多くの人が知らないのかもしれませんが。田原全体がひとつになるような行事、子どもから老人まで全ての人に参加できるイベントがあれば良いと思います。

自然豊かな今のままが良いと思います。ただもう少し地域活動を増やしたり、みんなが参加できる運動会やイベントを実施してはどうでしょうか。

先日行われたグラウンドゴルフ大会は、とても良い大会だったと思います。地域の方々の交流もスポーツなどを通じればスムーズに参加しやすいのではないかと思います。このような大会での交流はいいなと思いました。

(50～59歳)

行事に参加する人が少なく、人との関わりがなくなっています。田原の魅力は昔ながらのお祭りや盆踊りが続いていることなので、これからも続けてほしいと思います。みんなで参加できるような催しがあったらいいなと思います。

共通のイベントが無いと、連帯感がなく封鎖的になっている気がします。伝統行事、新たな地域おこしを行っている地域は活気があり、次世代まで行事、イベントを通じて地域を大切にしている気持ちが育成されていることから、この地区でも何か取組が必要であると感じます。

30年前に田原地区に住み、名鉄が開通するとのことで家を移り住みましたが、今は陸の孤島のようなありさまです。年がとるにつれ、不便さを感じます。また、地区の集まりもなく、絆を深めることはなかなかないです。パターゴルフやソフトバレーができるような場所があれば、地域の方々がふれあえると思います。

(60～69歳)

歴史文化を若い世代に引き継いでほしい。

公民センターなど利用して健康づくりなどに力を入れてほしい。

田原には、祭りの行事がないような気がします。昔から地域の和とか協力関係をつくる意味があり、村祭が一役買っていたような気がします。あんどんみこしではなく、田原の村祭を再興してみてもどうでしょうか。

地域の公園に、年配も遊べるちょっとした健康遊具を作してほしいです。

住民の絆を深めるために田原地区の大運動会を田原小学校などで開催する。

(70歳以上)

各自治会で簡単にできる楽しい行事を企画する。男性グループ、女性グループ、親子グループ、一緒になってスポーツ、バーベキュー、レクリエーション等々望みます。

【自然・環境保全】

(30~39歳)

田原に住んで7年目になります。子どもがまだ小さいので色々な活動には協力できませんが、年に数回ある草刈り等で主人がご近所の方と交流させてもらっています。草刈りで地域がきれいになったり、ご近所の方と顔見知りになれるのはいいのですが、暑い季節の作業なので熱中症にならないか心配です。開始時間を早めて作業時間も短くしてほしいです。

新しい施設や広い道をつくるのではなく、今ある自然や田畑を守っていくようにしたい。しかし道ができたり広くなったりすれば、その分車のスピードがあがって危険なので、今ある道の草刈などきれいにする取り組みが大切です。

これ以上、山を切り裂いたり、自然を壊すのはやめてほしい。壊すことは簡単ですが、再生までには何十年、それ以上に年月がかかるので、もっと大事にしてほしい。道路をたくさん作って便利にはなるが、一方では老いる人が多くなるので、将来使用する人は減っていきます。老人も子どもも一緒に暮らし、みんなが住みやすいように一人ひとりが意識できたらいいと思う。

外を歩いていたり車から外を見てもゴミが目立つ。きれいにすることを誰もが心がけてポイ捨てをしない等、個人でできることをまずは行う。地域での活動で清掃してもゴミを捨てる者が減らないと何も変わらない。これはゴミを例にしたが、すべてに当てはまることで、個人の意識次第で、住み良くも悪くもなると思う。

(40~49歳)

里山の環境を整備して、昭和の里山環境を残していく活動が必要では。子どもたちが野山で遊べる環境をつくっていくと良いと思います。

野焼きがいたるところで行われており、窓を開けておくと家中に煙のにおいがたちこめたりするので、極力少なくしていただけたらうれしいです。

野焼き、焚き火など、やめることを徹底してほしい。洗濯物に臭いが移りとても不快です。注意したくても怖くてできない。罰金を取るなど具体策を打ち出してほしい。(本当になくなるようお願いします！)

地域の川がきれいだったら田原地区は違った魅力のある田舎の自然を残せたと思う。数か所臭い所があるので対策をしてほしい。失業者ゼロのまちづくりを目指し、失業者に地域の整備(草刈等)をしてもらう。

野焼きが日常的に行われている地域で環境保護がされていない。昔から住んでいる人にとっては当たり前のことかもしれないですが、他県から来た者からするとびっくりです。その場で野焼きしなくてもいい方法を関市で対策していただけないでしょうか。野焼きがなければ住み良い所です。煙が家に入ってきて苦しいし、洗濯物も外に干せないんです。結構多くの方が燃やされますが、やっぱり言いにくいです。

(50~59歳)

旧関市の中で田園風景を有しているのは田原地区です。農業離れが進む中、農地を宅地にしていく所が多いので、今農業をやっている方は、ぜひ田原の良さである自然、農業を守っていただきたい。そして、ふれあい農園の魅力をもっと広めてほしい。

犬のフンの始末をもっとしっかりできるようにしてほしい。

緑が多い、静かな環境が良くて来ましたが、引越してすぐに山が削られ、高圧線が張り巡らされ、鉄塔が建ったりと自然が破壊されていくのを見て残念に思っています。樹木や平野と高山の間には、たくさんの鳥もいるそうです。山林や雑木林を大切にしてほしい。街から移り住んだ人間は、同じ思いです。

やっぱり田原は、豊かな農業地域であってほしい。

野焼きを徹底的に規制してほしい。洗濯物が臭くて仕方がない。

テーマとは少し外れるかもしれませんが、秋のひまわりとコスモス畑にとても感動しました。管理されている方々に感謝しています。ありがとうございました。

(60~69歳)

自然とのふれあいに関心が高まりつつある今日、田原の里山においても整備を進め、健康保健林を多くしてほしい。桜台ニュータウンを取り巻く森林の公園化を進めてほしい。津保川と森林が一体となった健康ふれあいの森など良いと思います。

“地域の発展”の名のもとでの大幅な人口増は望まないが、人口減も困る。景観（環境）保全が最も大切と思う（スポーツやイベントは各自の趣味であり、地域全体で取り組むのではなく、愛好者同士の好みに任せればよい。）が、無償ボランティアによる道路沿いや河川堤防の草刈りなどは、一般人では対応できない。「交通安全のぼり旗」は、景観を悪くしているばかりか、交通の迷惑になっているものもあるので、設置しないでほしい。すっきりした標識板（少量の）で啓発すれば足りると考えます。

【その他】

(18~29歳)

新しいことを受け入れる寛容さ、変化を受け入れる勇気を持つことが大切です。

現在上京して大学に通っており、私の家族がいる田原地域に帰省するのは基本的に年末年始と夏休みのみとなっています。地域委員会の設立がどこまで本格的に話し合われているのかわかりませんが、世代間の連携が必要だと思います。また、情報の開示と閉鎖的な雰囲気（があるのかは知らないが）を除去することが大切であろうと推察します。

私たちが住む田原地区は、郊外の農村地区であり住みよい街の条件である交通という要素は強く望めない。そこで田原地区の独自の文化（山の講）を大切にしていけるべきである。つまり地方の農村の色を大切にしていけることである。しかし、住民の負担が大きくなってはいけないため、自由参加にするなど行事も気軽に参加できるようにすると良いと思う。

田畑を自治会で管理し、農業を活性化させる。作物を販売し、売上げを自治会費や寄付等にまわす。

住みやすいけどボランティア活動団体の知名度が低いから、何かしら表に出る活動した方が良いと思います。良いことをしているのにもったいないです。私の住んでいる所は駐車場が沢山ある家が少なく、子どもが大きくなると路駐が増えて困っています。何かしら約束をつくってほしいです。本当に事故しそうで危ないです。

住みよい地域にしていくためには、もっと市民全体で取り組めるボランティア活動が大切になってくると思います。このアンケートで分かったように私たち10代には、ボランティア活動なんてまったく接点もないし、広報とかに「この日に〇〇ボランティアやります」ってかいてあっても、まず広報を読んだりしないので「そんなのやってんだ」って思うくらいで終わってしまいます。若者に興味をもたせられる宣伝をしていかないと広まっていけないと思いました。

小・中・高を卒業し、あまり地元に住かないため今の田原がどうなのか分かりませんが、私が小さい頃は、友達と田んぼ道を帰ったり、歩け歩け大会に参加したり、田原の豊かな自然が大好きでした。田原の魅力であるその自然を大切にしつつ、清掃活動等を通して子どもや親、高齢者の方々と交流できる機会がもっと増えればよいのではないかと思います。田原をより良くするためのアンケート、とても素敵だと思います。ありがとうございました。

この前、迫間の「大岩不動」に登ってきました。頂上までの道のりが険しく、でもなんとか登りきりました。その時に見た頂上からの絶景が今でも心の中に残っています。その景色をこれから守らなくてはなりません。その第1歩が、山のマナー（ゴミのポイ捨て、植物を傷付けないなど）だと思います。

(30~39歳)

自然が大切にされています。ふる里農園など、その特性を生かしてほしいです。

生まれたときから田原に住み、大切な故郷だと思っています。自然が多かったのが年々減ってはいますが、変わっていくのは仕方ないかなと思います。でも、子どもを連れて田原山にのぼったり、散歩をしたりしていると、自然の季節の移り変わりを感じたり、近所の方に声をかけていただいたり、暖かい場所だと感じます。でも、少し閉鎖的だと感じる所も時々あったり、よそ者に少し厳しかったり、田舎はどこも同じだと思いますが感じる時もあります。何年後か子どもたちにもここで育って良かった、故郷だと胸をはって言えるような場所になればいいなと思います。できれば、戻ってきてくれるといいなと思います。

古い習慣が残っているので、時代にマッチするように改善した方がよい。

閉鎖的で外から来た人を差別的に見ている。

ボランティア活動は子どもたちから地域のためにやるべきことであるという意識付けをしておくことが大切だと思います。子ども、大人、お年寄り、すべての人がより多く参加できる機会をつくっていくことが重要になってくると思います。

地区（自治会）の行事が多すぎて負担になってきます。高齢の世帯の負担をなくしてほしい。

今でも十分遊べて満足していますが、ふるさと農園など子どもや老人の方が来やすく、のんびりできる場所がもっとあるといいと思います。

田原地域に限らず、少子高齢化に関する活動ボランティアは多いが、若者が関心がある活動は皆無である。

農業が盛んでお年寄りが元気でイキイキしているのが良い所だと思います。今は農業が見直され、将来も続いていく仕事だと思います。田畑をつぶして、ショッピングモールなどを作ることは良いとは思いません。福島などで農地を奪われた方に移り住み、新しい農業を営んでもらうなど、田畑を活用した地域づくりをしていただきたいと思っています。あとは外灯が少なく、子どもの通学路が心配です。

高齢者、子どものいる世帯など、どんな少人数の意見でも取り入れるよう努力してほしい。耳を傾けてほしい。例えば、敬老会に参加したくても、送迎がなくあきらめた人がいることを知ってほしい。耳を傾けて知ってもらうことで、住みよい地域に少しでも近づくといいと思います。

(40~49歳)

念仏当番はやめて下さい。強制的に出席しなければならない。（班の人に言われました。）なぜ出なければいけないのか、はっきり説明をしてください。宗教が同じ人がやって行けばよいのではないですか。

私はこの地域に住んで15年目位になりますが、このごろでは友人知人も増えありがたいと思っています。子どももスポーツ少年団等に参加させていただきありがたいと思っています。欲を言えば、大人が集まってお酒を飲める店があれば、より広く知り合いができるかと思っています。

地域内の交流がとても盛んで良い反面、いろんな作業、行事のために家族の時間が奪われるケースも少なくない。適度なバランスをとることが大切だと思う。公園が少ないので、気軽に立ち寄ることができる広場がもっとあるといい。

ここは昔から住んでいる人が多く、新しくここで生活している者にとっては住みにくい所です。昔はその方法でよかったかもしれませんが、共働き世帯や介護世帯、いろいろな人がいるのに、その人たちの都合というものを考えず、話が進められていきます。

今はまだ仕事と子育てで手一杯ではありますが、協力ができる時がくれば参加したいと思います。周辺に同世代の方が少なく、関わりがほとんどありません。この状態で何か災害があった時にとても不安を感じます。行事、集まりなどほぼ参加していますが、やはり家にいることが少ないことが原因だと思われるので、年齢にとらわれず楽しめる場所があったらと思います。

田原地域というより関市が好きになれない。自己中心的な人が多い。田舎なので狭い道路が多いが、我先にとつっこんできて、こちらが待っていてもお礼をしない人が多い。待たせて当然という態度がムカつく！私はお礼をする人は私のように他から嫁に来た人や引っ越してきた人だと思うようにしている。そんな人は1割程度です。

宣伝して人を呼べば売れる特産品、歴史的なものがあるのに、うまく人が呼べていません。続けるだけでなく他の人に知ってもらえば、もっと地域がひらけて人も集まると思います。

他のところから越してきたのでこれをもっと広報したり売る努力をすればいいのと思うものがあります。円空いもも珍しくておいしいのに、いざ買おうと思うとどこで売っているかわかりません。伝承保存だけでなく販売も力入れてほしい。でも土地の人もあまり売る気も宣伝する気もないように感じます。外から見て欲しいものと内の人が入力しているものとの違いを感じます。

自治会の集まりも年数回で田原地域全体でというのは大きすぎてピンとこない。個人的には自然が好きで歴史的なものにも興味があるので田原地区のそういうものをアピールして魅力ある地域になればと思う。

田原は地元の高齢者が多く、昔からの習わしが多い様な気がします。他地区に比べて子どもが減少しているにもかかわらず、いまだに男の子だけの山の講というお祭りがありますが、半強制的に参加しないといけない。児童数も少ないので、子ども、親の負担が大きいのでなくなればよいと思っています。

道路だけでなく、鉄道などの交通手段をもっと発展させ、名古屋など都市部へのアクセスを良くすることで地域の発展を促す。また、エネルギーの地産地消を行うことで各家庭の負担を減らしたりすることなど、他地区が行っていない特色ある活動を行うことで住民の田原地区への愛着と誇りを育成したい。

野生動物の被害を少なくしないと、農地があれて生活しにくくなる。住民が自ら守ることを考えること。

桜台に住んでいますが、以前、桜台は田原地域の古い方にとっては何も知らない新参者という位置づけだという話を会合に出席した方から伺いました。田原地域を住みよくするには、同じ住民だから、ある意味、理解も必要ではないでしょうか。

(50~59歳)

桜台に20年位住んでいるのですが、子どもが小中学校の頃は田原地域の住民として関わってきたのですが、それ以降はほとんど関わりなく桜台が孤立さえしているように思えます。

引っ越ししてきて1年半になります。地域の魅力は今のところあまりよく分かりませんが、高齢者、子育て、障害者の方の支援活動に参加しながら田原地域のことを知っていきたいと思います。

いつ、ふれあいセンターに行っても仲間がいる、話し相手がいるような集いの場、憩いの場が理想です。

10年以上住んで、田原の魅力は感じません。それは、団地に住んでいるせいなのか。田原地域での関係が良好であると思わない(よそ者扱い)。当団地の発言力が生かされないような閉鎖的な雰囲気がある。以前住んでいた地区とは何かが違う。

私自身フルタイムで働いていて地域にいることはあまりありませんが、月に一度くらい土日の短い間のボランティアなど少しお役に立てたらと考えます。豊かな自然の中で気軽に子ども達と遊んだりしたいです。

自然環境には恵まれている。しかし、牛、豚を飼育している所からの臭いが気になる（風が強い日など）。自治会活動から寺、神社との関わりを分けて欲しい。

農業従事者の高齢化により、今後農地の管理をどうしたらよいか心配です。

(60~69歳)

息子が消防団に入る人が少なく困っていると言いますが、ますます個人主義の人が増えると思います。今、田にコスモスが咲いてきれいです。少しでも荒れた田畑を、ボランティアの人々で守れるといいですね。

ふるさと農園美の関ができてから、高齢者の方が頑張っって野菜を作り、販売するようになった。ほかの地域の方とも顔を合わせるようになり、活気が感じられるようになったと思います。

空き地が沢山あり、福祉事業のモデル地区となるような地域づくりはできないか。

自然に囲まれて大変静かな地域です。ふれあいセンター等でサークル活動も活発のようですが、今後も幅広く活動していただけるとよいです。田原は日中の活動が少なくちょっと淋しい所です。

不動の森、迫間産地直売所、迫間不動が関市街の観光施設とのネットワークができれば、関市の観光客も増えると思います。不動の森、産直、迫間不動の集客力は本当に凄いいと思います。

元々、この地域に住んでいる人達は少なくなり、新しく家を建て、色々な所から新しくこの地域に移り住んでくる人が多くなる。やがて昔からある行事や祭事が無くなるような気がします。

話を聞きたくても、いろいろ知りたくても、情報が耳に入ってこない。

私たちの年代ですと、嫁ぐときに親から親のあるところへ行くのだから老後もずっと見てあたりまえと教えられてきました。今の世の中をみていると、施設に入所するのがいやという親を入所させ、自分はボランティアしてみえますが、間違っていると思う。家庭をきちんとして時間ができればボランティアもいいと思いますが、見せかけのボランティアはいかがかと思っています。

(70歳以上)

子ども会、小中学校の資源回収に協力する。市の回収日に出す人が多い。

ふる里農園ができて大変助かっています。スーパーができるともっと良いですね。

問17 あなたが想像する10年後の田原の姿は…。

【現状維持】

(20～29歳)

今のまま平和なまちだと思います。

今とあまり変わらないと思う。

あまり変わらない気がする。少しは人が増えるのではないかと思います。

(30～39歳)

大型店はなく、古い家は建て直されているけれど、今とあまり変わらない。

今と変わりなく、自然の多いまちだと思います。

田原はこのままの姿で変わらないと思います。私も一緒に年をとっていきたいと思います。

方向性が定まらず、今のまま中途半端な状態が続いていると思う。

お店が増えるとは思えません。このまま10年後も変わらないと思います。(それで良いと感じます。)

今と変わらずおだやかなまちです。

今とあまり変わらず、のんびりしているといいです。もう少し特産品や見所ができていて、休日にはぎやかになっていると思います。

変わらないでほしいと思います。

ほどよく田舎で暮らしやすい地域であり続けていると思います。他地域に比べると開発がされていないと思われる。

今とあまり変わらず、人口もそんなに変化していないと思う。道路が整備されれば人口も増加、店も増え、住みやすくなると思います。

今のままの姿を望む。

(40～49歳)

10年後に希望のある未来が想像できません。しかし、子どもたちの未来のためにも生活しやすく、経済的に安定した社会になることを願います。

今と変わらず自然が多くあると思います。

さびれて人はいないと思います。閉鎖的な状態が続いていると思います。

私の住んでいる周辺は今と変わらない。もしくは、高齢者世帯が増えると思います。

都市化が進んでほしいですが、実際には田原は田畑や酪農が多いので、あまり変わらないと思います。

年寄りが多く、若い人は少なくなっていると思う。10年前と今を比べても何も変化していない。故に、10年後も、大きな変化はないでしょう。

(50～59歳)

今と変わらず、自然が豊かなまちであってほしいです。

のんびりと過ごせるのどかなまち

今と何も変わらない。ただ、子どもの数が少なくなる。

このまま変わってほしくないです。

世帯数が少ないのであまり大型店もできない。これといって発展はないように思います。

(60～69歳)

見た目には大きな変化はないと思う。しかし、地域住民の地域に対する意識は向上していると思う。

あまり変わらないと思う。(変わって欲しくないと考えている。)

【コミュニティ・交流】

(20~29歳)

若者が地域の行事に参加しない分、近所付き合いも一段と減り、孤立する状況が増えてしまう。

若者が集まる店を多くつくってほしい。(希望です)

若者が減り、年配が増え、自治会の活動も負担となってくると思うので、内容を考えた方がいい。今の若い人たちに、今までの活動を引き継いでもらうのも無理だと思う。

どんどん山が壊され、ショッピングセンターや道路が変わっていくとともに、都会にみんな出て行ってしまって、ご高齢の方や未婚者も増えると思う。しかし”街コン”とか流行りに乗る方法は、個人的にはあまり賛成できません。

(30~39歳)

幅広い世代が住み、良い地域になっている。

人が良く、とても住みやすい地域に引っ越してきて本当によかったです。自然を大切に地域で仲良くしていきたいです。

少子高齢化が今よりも進み、農地などが耕されなくなってくる。新興住宅地なども子どもが巣立ち、今の迫間台や桜台のようになってくる。そうになると、独居老人の問題や老々介護、治安の維持などにも関わってくる。そうならないための政策が必要である。難しい問題ですが、若い人たちに新たに住んでもらえるようにすべきである。

幼児から年寄りまでが挨拶や笑顔で溢れる明るいまちになっている。

10年後は観光客が来るなどもっと活性化するとよいと思います。田原の魅力など伝えられると良いです。

老人がとても多い地域になっていると思います。若い夫婦、子どもが暮らしやすい魅力ある場所になればと思います。老人も暮らしやすい環境が今以上に必要だと思います。これは田原だけでなく社会全体に言えることだと思います。

結婚や育児を機会に地元若い世代が戻ってきて、ゆるやかに世代が交代していつている。それにともない新たな施設や活動が行われていると良いと思います。

それぞれが地域のために活動すれば、活気あふれる住みよい田原地域になっていると思います。

(40~49歳)

子どもが減り、老人が増える。大型店が増え、人の流れはあるが、それにともない事件、事故等が増える。

特色ある地域づくりを行うことで、その活動に賛同し、ともに活動してくれる住民が増えることで地区が活性化している。

孫と一緒に住めたらいいかな。この団地では、二世帯は少ないので心配です。

(50~59歳)

女性・子ども・老人にやさしい町になっているといいな!

住民一人ひとりが地域づくりに取り組んでいると思いますし、やらなければならない。

子どもたちが増えて、広場に子どもたちが遊んでいるといいのですが、年寄りばかりになっているでしょう。近所同志が助け合えばと思います。

地域の横のつながりを密にしないと空洞化してしまう。農業支援がないと田、畑などなくなっている。

子どもたちが独立して家を離れて、夫婦または一人暮らしの家が増えて空き家も多くなる。これから近所との交流を大切にしていきたいです。

老人が多くなり、その誰もが豊かな気持ちと活動が許される機会、場所がすぐ近くにあるといいです。

すれちがう人たちが明るく声をかけ合い、移動店舗もでき、名古屋へも電車でいけるまちになってほしいですね。

桜台に住んでいて、今は車に乗れるのでいいが、10年、20年後はどうなるのか心配です。引越してきたときはバスが走っていたのでよかったけれど・・・。

農地は、住宅化され人口は増加すると思う。そのためには古い伝統や決まりごとを少しずつなくすことも世代交代には必要だと思う。

(60～69歳)

人が減り、単身世帯が多くなり、自然が荒れる。地域の絆が薄れる。

自治会だけでなく隣の自治会や田原全体が仲良くなるような、親子はもちろん老人会も含めてみんなが仲の良い地域になったら良いと思う。

団地は老人が多くなり、自治会活動が大変になると思う。

独り暮らしの世帯が多くなるのではないかと思います。

元気な老人が、ボランティア活動等活発に行って、子どもとお年寄りが安心して暮らせる地域になっていることを願います。今よりはずっとよい地域になっていると思います。

どこにでかけるにしろ車がないと動きがとれない。この先高齢者が多くなり、車ではなく歩いて行ける場所に、憩いの場がもっともっとできれば良いと思います。

(70歳以上)

地域内の集まりを多くすることによって地域の絆を高めることが必要かと思っています。

【人口減少等】

(20～29歳)

工場や大型店などが増えて子どもが増えている。

高齢化が進み若い人の人口が減っている。

アパートなどが増えなければ、人が増えていくことはないだろうと思う。また、自治体で対応できるか分からないが、子どもの教育に力を入れるべきであり、10年後、20年後の未来は今の子ども達の教養、倫理観にかかっていると思う。

人口が減り、空き家も多くなり、学生も少なくなる。

田原団地に住む人が少なくなっていくと思います。空き家も出てくると思います。

核家族化がいっそう進み、人口は減っているのではないかと。

20代、30代の人たちがたくさん住んで活気に溢れていけばいいと思うが、そう簡単にはいかないと思います。

(30～39歳)

少子化で共働きの家庭が増加する。外で遊んだりしている子どもが少ない。

住宅が増え、人口も少し増えている。

交通量も増え、家の数や子どもが今より多くなっているような気がする。

私の地域は子どもの数が年々少なくなっていると思います。小学校へ通う児童の人数も少なくなっています。10年後の若い世代の人数が減ってってしまうのではと心配しています。

(40～49歳)

子どももまだ多いので、10年後は老人も子どもも多くなると思います。でも、田原から出ていく人も多い気がします。

現在でも小中学生が少ないので、これからも減って行くのではないかと思います。

今とは大きな変化ない。しかし、バイパス開通で多少人は増えている。農園により訪れる人が多くなってほしい。

バイパスが通ったため、多少民家が増えて人も集まってくると思われる。ただ、住宅ができるだけで街の様子はあまり変わらない。計画的なまちづくりをしていく必要があるのではないか。

バイパスが出来たことで住宅が増え、若い人たちがたくさんいてくれたらいいなと思います。

上迫間、下迫間は人が減っている。老人だけの家が増えている。

現状のままであれば、人は減っていくでしょう。この地に足を止めさせる魅力が（名古屋へ行きやすい等）あれば、人は増え、活気のあるまちになると思います。

(50～59歳)

桜台を除く、他の地区（特に農業を行っている）は後継者もなく、人が減り、空き家が増えていくと思います。

人が減り、魅力のない地域になると思います。住みよい明るい地域にしてもらいたい。

10年後ではあまり変わってないような気がします、これが20年後であれば、やはり、人口は半分に近い状態だと思います。

人が減り、空き家ばかりになっている。老人世帯が増えてると思う。最近では子どものいない世帯が多いみたいだから。

老若男女が人口的にバランス良いのが理想です。田原地域で生活がある程度できれば若い人も離れていかない気がします。

(60～69歳)

元気で遊ぶ子ども達の姿が増えていることを望みます。

少子高齢化による活気のないまちになるのではないか。（空き家が多く）今からさらなる地域づくりの推進が必要です。

夫婦2人だけの家が増えるので、子どもたちがとても少なくなるでしょうね。

人が減り空き家が増えると思います。若者が働ける地域が増えたが、店舗が少ない。昼と夜の人口が違いすぎる。

昔に比べ人口は増加しますが、生活環境の不便さは、変わることなく、これから高齢になり将来ますます不安を覚えます。

10年後、老人が多く、子ども少なくなり活気がなくなる。思いやりがあり、高齢者をいたわる子どもが多く育てほしい。何しろ子どもが元気でいて欲しいので、何かスポーツでも芸能でも日本一になれるような人が育て欲しい。

桜台は小学校が遠い。なぜ近いところ（桜ヶ丘小学校）に行けないのか。人が減り空き家が増加する。小さな子どもがかわいそう。

新しく入ってくる人がいない。（東田原）人は減ると思う。

(70歳以上)

子孫繁栄に期待します。

高齢者の増加に伴い、人口の減と空き家が多くなる。活気がない団地となる。

【高齢化】

(20～29歳)

年寄りの方が増えて若い人間が住みにくくなっている。

若者の数が減り、過疎化し、高齢者が現在よりも増えている。

高齢化が進み、若い人がいなくなる。老人ばかりで困ってしまう。

今以上に高齢化が進み、若者の地元離れが加速する。耕作放棄地が増える。

工場、会社などが増え、独居老人が多くなっている。高齢者世帯も増え、交通手段も少なく買い物も不自由になっている。
10年後となると、私の母親・父親世代がリタイヤを迎える前段階くらいのことかと思います。少なくとも子どもの姿がそこにあるのかと危惧しないでもありません。
若者が減り、高齢者が増えると思う。高齢者の住みやすいまちづくりを今から取り組むべき。
高齢者が増える。交通の便が悪い。住みにくいまちになってしまうのではと心配します。
老人が増え、一人暮らしの人や空き家が多くなると思います。

(30~39歳)

少子高齢化になり今の子どもたちの代には一人一人の地域活動などの負担が増えてしまうのではないかが心配です。
少子高齢化が進んでいる。住宅と工場が混在している。
田畑が住宅にかわる。高齢者同志が孤立しているが、すぐに助け合えるそんな田原を望みます。
近所に高齢の方が多中、小さな子どもが少なくなっていると思うので、子ども会などなくなっていくような気がします。

(40~49歳)

田畑が減り、住宅が増えると同時に年寄りが増え、福祉制度の施設が増えるであろう。
ますます高齢化が進み、今以上に地域活動など人手不足が深刻な問題となっている。
高齢者の人数が増加し、また他地区からの転入者が増え、人が増えるのではないかと思う。
老人が大多数となり、スポーツ活動、消防団等体力を伴う活動が困難になる。
年金で生活しているいろいろな事が縮小していくのでわからない。
そのころは定年が近いので、福祉施設が増えていると助かる(身勝手な話ですが)。市長の若い力に期待しています。
高齢者の割合がさらに増え、一人暮らしの老人が増え、見守りが今よりも重要になってくる。

(50~59歳)

人が減り、空き家が増え、老々世帯ばかりの限界集落になっていると思います。
桜台は高齢者団地になっていると思います。
桜台は人が減り、老人が多くなる。他地区の団地のかかえる問題が近い将来来る。近くに買い物のできる店舗があると良いと思う。
今のままでは団地(桜台、迫間台、向陽台)で高齢化が進み、日常の食料品を買うことが困難になってしまう。
高齢化が進むと思います。若い人が遠くに就職したり、結婚して親と同居することが減ってきていたりしています。
家ばかり建つと思いますが、お年寄りには不便な地区であると思う。
私も含め老人ばかりになり、子どもがいなくなると思います。今は車に乗れるのでいいですが、車に乗れなくなったら買い物も行けなくなります。住みよい関市にしてください。
高齢化が進み、自治会、消防団活動などができなくなってきている。
高齢が進んで、買い物店や日常生活が便利になるとよいですね。まだ、自然が一杯ありますので、生かして人が集まるようにする。
各地域(桜台)の10年後は、高齢者の増加が深刻で、自治会活動の是非まで問われそうである。
子どもが減り、老人が多くなる。日常の生活が不安になる。(買い物など)
高齢化が進み、助け合わなければ生きていけないまち。交通手段すら、あまりないのですから。
私が住んでいる桜台は同年代の人が多いので、高齢化が進むと思います。交通の不便や独居の数が増えたりするかもしれません。若い人の数が増えるようなまちづくりが必要です。
子どもがいなくなり、高齢者ばかりの田原、こんなことにならないでほしいと思います。

(60~69歳)

日本の将来と同様に高齢者が増加する。
跡を継ぐ若者が地域を離れ、子どもも少なくなり、高齢者が増えている。
高齢化問題が深刻になると思います。また、農地の荒廃が問題になっていると思います。
高齢者が多く自治会活動等がとても負担になる。
高齢者が増えて、人の手を借りなければ生活できなくなる。
元気な高齢者が生きがいを見つけて毎日楽しく生活できる田原を期待する。
まわりを見ると高齢化が進み、自分(達)もやがて同じ様な状態になっている。残念ながらあまり明るい材料はみえてこない。せめて隣近所連絡を密にし、孤立しないことが必要です。
高齢社会になっていると思います。ここは住みにくい場所になっていると思います。(車に乗れなくなったら生活できません)

(70歳以上)

私達の住んでいる所は老人ばかりで、今に淋しい生活になると思う。
年寄りにも住みやすい不便のない地域になっていけば良いと思っています。

【公共交通・道路】

(30~39歳)

道路が増え交通が便利になる。子どもが減り活気が少なくなっている。
交通が便利になり、今より活気にあふれている。
交通機関がもっと便利になり、いろいろな所にバスを使っていけるようになり、もっと活気づいている。
今のままであまり変わってほしくありません。ただ、子どもが通学する年齢になっているので、外灯がふえて道が明るくなってきているといいなと思います。
大型店が増えて、公共交通機関が充実しているまちになってほしいです。
高齢者世帯が増えると思うので、交通の便をよくしてほしい。
交通の便がとにかく悪いので、年をとったときに生活に困りそう。病院がない、金融機関はJAのみ、スーパーも遠い、とにかく様々な面で不便なので人が減っていきそうです。

(40~49歳)

市中心街、マーゴ、バロー、ゲンキーまでのバス、無料送迎タクシーなど交通に対してのお店の配慮が増えている。
商業施設はそれほど進出してこないと思う。道路が整備され、交通量が増えるが単なる通過点であり、生活には悪い影響を与えない。さらに住みよい地域になっていると思う。
大きい道路が増えている。田畑のところに大型店や住宅ができて地元の人ではない人が増えている。
バイパスの開通により店などが増え便利になる一方、事故事件が増える。
小学校に通う子どもが少なくなれば、スクールバスでの通学をさせてほしいです。
今のままでは人口が減少する。電車などが鶴沼方面に整備されれば活気あるまちになると思う。
国道248号線バイパスの完成にともない、東田原から大杉にかけて発展すると思う。
交通の便が良くなり「物流」の拠点になりそうです。
交通の便が悪いので高齢化が進み、発展しないと思います。
愛知県から当地へ来て23年、夜になると真っ暗闇の田原。それが現在ではなかなかの夜景です。10年後はいろいろな店もでき、交通も便利になるのでないでしょうか。
大型店やスーパーへ行ったりできる交通手段が充実している。

(50~59歳)

高齢化が進み、特に買い物、病院等にでかけたいが交通機関に困っている住民の人達が多く存在しているように思われます。
高速道路への道もできましたし、交通の便がよくなり、多くの家がリフォームして、今以上に家が増え人口も増加している。(希望)
名古屋に一番近い関、鵜沼に車以外の方法で手軽にいけるようになれば、通勤、通学圏内になると思います。

(60~69歳)

鵜沼駅まで公共交通機関(バスや電車)が整備されている。
あまり変わっていないと思いますが、公共の乗り物(バス)があると良いと思います。
大型店舗はそれなりの良さをもっています。しかし、ただそれだけに頼ってでは地域にも偏りができる。そのため、人が循環できるような交通システムを取り入れ、小さくても個性ある店づくりをみんなで考え、人の往来が活発なまちにしていきたいです。
こんな不便な所は困りますね。近くに店はないし、行くにも長い坂道です。簡単に買い物にも行けない。体が弱くなったらどうしたらよいのか心配です。
30数年住んで、道路等は整備されたが、生活は車を使わなくては成り立たず。将来、買物難民になることが不安です。
自家用車がなくても買い物ができるように、市の乗合タクシーまたは田原の乗合タクシー等で自由にでかけられたら良い。
この田原地区はコンビニはありますが、食料店、雑貨店等なく、運転できなくなる方と一人住まいのお年寄りの方は、タクシーで関まで買い物に行かなければならず、とても不便です。若い人達ももっと便利な地域へと移って行かれ、田原の人口も減ってしまうのではと不安です。

【店舗・にぎわい】

(20~29歳)

新しい道路が完成したので、アパートやコンビニなどいろんなものができそうな気がします。
難しいとは思いますが、団地内にお店ができてほしいです。
新しい248号線のおかげで、お店が増え、まちが盛んになる。田原のおいしいいちごや農産物が有名になっていくと思います。
悪い意味で大型店などが増え、栄えると思う。どこの地方にも見られる典型的なテンプレートどおりの没個性的なまちになるだろう。
国道248号線が開通したので、買い物や出かけるのにととても便利になっていると思います。ショッピングモールもできて、にぎやかになっていると思います。
248も開通し、色々な店も増え、活気づくと思います。
大型店が増え、便利な生活ができています。
景気が良くなっていれば、大きなスーパーができて、活気にあふれている。

(30~39歳)

大型店が出来ているとうれしいです。
都会すぎず、田舎すぎず、今より少しお店が増える。今より少し大通りができる。無理して都会のように背伸びしないのが理想です。
248号バイパスができたので、周りにたくさんの店ができています。
248号線も開通し、その周辺にホームセンターなど店ができていますと良い。
バイパスができたので道路を中心にお店が増えると思います。治安はそのまま、活気にあふれる田原地域になってくれるとうれしいです。
いろいろなお店が増えて、交通も便利になり、夜もネオンで明るく人が歩いて行動できる。

(40~49歳)

今よりも店が増え、より車の量が多くなる。
スーパー等大型店が近くにできて、多くの人が集まり活気にあふれている。
大型店は増えていると思うがあまり変わっていないような気がする。
大型店が近くにできて、とても活気にあふれている。道路も2車線が増えてすれ違いやすくなる。
バイパスが完成し便利になったので、そのまわりに大型ショッピングセンター等ができて活気にあふれるまちになっていたら、うれしいと思います。
国道248の開通に伴い、もう少し生活しやすい地域になっていること(大型店とまでは言いませんが、買物や軽食がとれるような)を願います。
道路も整備され、お店も増えて、活気にあふれていてほしいと思います。
住宅地が増え、コンビニエンスストアが2軒くらい増えそう。
まわりが暗いのでもっと店が増えて活気があるといいです。コンビニもあると便利です。
バイパス近辺には大型店などが出店している。旧来の田原地域は活性化しているが、大型住宅地域は人が減り、空き家が増えている。
身近な場所にお店があり、高齢者も買い物に困らない地域になってもらえるとありがたいと思います。
住宅、アパート、お店などが増え、どんどん街になると思います。
小さくて良いからお店が近くにほしいです。

(50~59歳)

今は畑や田んぼが多いが、歩いて行ける店が増えると思う。
お店などが増え、交通も便利になっている。
大型店などのお店が増え、交通量も増え、活気ができてきていると思います。
248号近辺には多くの店舗が並び、一つの街になるのではないか。
住宅やお店も増え、静かな住み良い田原地域になると思う。
10年後はあまりわからないけれど、店が増え、活気があればいいと思います。
バイパス(国道248号)の開通により、大型店が来たり、若い人(転入者)が増加する。

(60~69歳)

今の若い人は両親と同じ敷地に家を建てて住んでいるが、両親が亡くなったら両親の家が空き家になり、固定資産は2軒分支払わなければならず、困る人がでてくると思う。248号ができ、交通の便が良くなったから東田原あたりに大型スーパーができ、少しは良くなっていると思う。
近くに大型店ができ買い物が便利になる。
多分、バイパスができたおかげで、大型店ができ、活気のある田原が生まれる。

(70歳以上)

小さくて良いからお店が近くにほしいです。

【産業・雇用】

(30~39歳)

地域の産業が育っていると良いと思います。若い方もこれに携わり、生まれ育った地域に根付いて暮らしていけるようになるのではないのでしょうか。うまく思いつきませんが、特色ある農産品とか考えてはいかがでしょうか。
--

(40~49歳)

農地が管理できるか不安。248号バイパスが高架のため、商業・経済が発展しないので、特に交通の便や高齢化対策をしないと魅力のない田舎になる。

働ける会社が少なくなって、夫婦が働くことができない。交通機関がなくなっている。

248バイパス西田原IC付近に集客できる施設ができ、地域が活性化して欲しい。

若い方や他県の方が増えるような商業施設がたくさんでき、働ける会社が多くあるまちになれば良いと思います。

(50~59歳)

地場産業の振興がなく、若い世代の増加が見込めず、より高齢化が進む地域となる。

(60~69歳)

高齢化が進み、空き家が多くなるかもしれないが、工業団地、住宅団地やマンションが増えそうである。

【農業】

(20~29歳)

農業をする人が減り、田んぼを作る人が少なくなるので農協に頼る人が増える。反対に独り暮らしの熟年層が増え、お弁当や総菜(1食分)などが人気を呼び流行る。

少子高齢化は避けられないので、休耕田などをさらに活用し、市外県外から観光客を呼んで農業体験など参加型の催しを行うのも必要だと思います。

(30~39歳)

農作物の鳥獣被害が多くなっていそうで心配です。

農業をする人が減り、荒れた畑や田んぼが増え、若者も他の地域へ出てしまっている様な気がします。そうならないように都会などから農業を始めたい人を集めるなど市でも動いてほしいと思います。

(40~49歳)

若い人は増えるが、田畑を耕す人が減っていると思う。

都市開発は現状では考えられないので、農業をやる人が減り、農地が荒れていると思う。

農地の意味を今より考えなければ、年配の方が苦労している。

後継者不足で農地が余る。

人口が減り、農業は会社組織になり、個人の農家はなくなる。発展することを祈ります。

(50~59歳)

高齢者が増えて若者が減少するので人口は変化しない。高齢化社会になり、農業をやる人が減り、田原の田畑はどうなっていくのでしょうか。何か対策を講じて若者がお百姓のできる社会になってほしい。

子どもは独立し、仕事の都合で家を出る。人口の減少と結婚者の減少により、高齢、独り暮らしの人が増す。特に農業者の減少にもつながっていき、米の生産が大幅に落ちる。

平均年齢も上がり、人が減り、休耕田が増えるのではとってしまいます。

子どもが減少し、年寄りばかりになるので、農業が衰退すると思う。会社組織にして働く場をつくって、定年後も働ける場をつくると良いと思います。

(60~69歳)

農地が減り住宅が増加するが、旧田原住民が減少すると思われるので、そのようにならないように今からお互いに住民同士で田原の姿を変えないようにしていこう。

高齢化に伴う耕作引受者の減少により耕作放棄地の増大、雑草が目立つようになる。
農業に従事する人が減り、農地が荒れてくるかもしれない。
地域の人口は少し減り、耕作放棄地が増え、猪の被害が増えていることでしょう。
若者が農業に対しての魅力を感じていないので農地が荒れると思います。
少子化で人口も減り、広大な農地を耕す人材が減る。荒れ野原とならないよう、各々の世代の奮起を願います。

(70歳以上)

田んぼが少なくなるのは確実。田んぼはどんな景色に変わるのだろう。
農業従事者が減少し、耕作放棄地が増加する。高齢者が増加し、空き家が増加する。隣近所の絆が希薄になる。

【公園・たまり場整備】

(20~29歳)

もっとコンビニとか広い公園とかで、子ども達や家族が集まれるところがほしいです。公園でも芝生がいっぱいあるくらいの公園が良いです。

(30~39歳)

想像はできませんが、希望としては、小さい子どもが安心して遊べるような場所が増えていればと思います。公園などが少ないように思います。周りに家が増えているのに、とても危険な場所がいつまでもそのままなのも不安です。

雑木林や草むらが減り、所々にあるジャリ道が舗装され、整備された公園が増えるなど、子どもや住民が安心して暮らしていけるようなまちになっていることを期待したいです。

大きな公園などができて田原以外の人たちもどんどん来て活気あるまち。

(40~49歳)

緑いっぱい公園などの施設が整っていて住みやすい環境になっている。

(50~59歳)

もっとスポーツができる所があるといいです。体を動かす場所が欲しいです。

(60~69歳)

老人が増え、引きこもり気味な人が多くなっていると思う。子どもたちと老人たちが和気あいあいと過ごせる空間（木陰のある、人が集まる公園）を私もほしいと願います。

【自然・環境】

(20~29歳)

自然豊かで子どもたちが伸び伸びと外で遊んでいる。

近所付き合いがしやすく、今のまま自然豊かなまちになっている。

今と変わらない自然豊かであって欲しいと思います。田原の田園風景が大好きなので10年後もこのままの田原であってほしいと思います。

親だけでなく、近所の方々に地域全体で子ども達を見守っている。豊かな自然、外で楽しく遊ぶ子ども達、生き生きと働いている大人や高齢者、笑顔あふれる田原。

(30~39歳)

家が立ち並び、田畑が減っている。

子どもがのびのびと自然の中で遊べて安全な地域であることを心から望みます。

このままの自然を残しつつ、活気にあふれているまち。

豊かな自然も残る中、ある程度は今ある田畑がなくなり、住宅が建っているだろうと思う。
整備がされていて、豊かできれいな自然が残る。その結果として人が集まる。

(40~49歳)

整備された山や田畑で子ども達が明るく遊んでいる姿を期待しています。

子ども達が帰郷した時に変わらない田原であること。買い物などあまり不便でなければいい。若い人たちが落ちついた環境で暮らせる場所であれば、ほどよい人口が保てれると思うし、そうなってほしいです。

荒廃した田畑が広がり、休耕田が増加する(心配)。一方では、R248の開通により店舗が増え、人の出入りが活発化する。

緑あふれる空気のすんだ気持ちいい空間であつたらいいな。

自分勝手な行動をする人が増え、空き地や空き家に不法投棄が増え、荒れると思う。

(50~59歳)

自然あふれる高台の住宅地！

自然も残っているが、交通も発達している住みよい田原になっていると思います。

高齢者が増加して若者の働く場所も少なくなると思いますが、今までが裕福すぎただけで、豊かな自然と素朴な人間関係で穏やかな住みやすい地域になっていると思います。

田原地域は迫間川のホタルや坂祝から関江南線までの迫間山峠があり、この自然の豊かさを守り、そこに住む素朴な住民を見て将来人が増え活気あるまちになると思われる。

休耕農地等を有効利用して活気にあふれる田原になってほしい気持ちもあるが、自然を守ってほしい。

きっと、今までも不便な生活環境だったので、これから改善されるとは思いません。自然を売りにして活気あるまちになることを希望しています。

(60~69歳)

散歩していても、外では子ども達が楽しそうに遊んでいる。そんな姿を想像したいです。

自然が多く、人がのんびり暮らしています。

道路沿いには店ができるところもあるが、山間部や団地は高齢化して空き家が目立つようになる。雑草が茂る放棄地の管理が問題化しそうだ。

恵まれた環境にある田原の将来は、「田原の良い所」をいかに「若い人達」に伝えていくのかにかかっている。

里山の風景や自然がいっぱいの地域になる。

これ以上の大型店等々の開発は地域の自然破壊にもつながり必要ないと思います。

山がなくなり、小鳥の音が聞こえなくなる。